

製品名: Angptl1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06897**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	57kDa

抗原情報

遺伝子名	ANGPTL1
別名	ANGPTL1; ANG3; ANGPT3; ARP1; PSEC0154; Angiotensin-related protein 1; Angiotensin-3; ANG-3; Angiotensin-like protein 1
遺伝子 ID	9068.0
SwissProt ID	O95841
免疫原	抗血清は、ヒト ANGPTL1 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 11-60

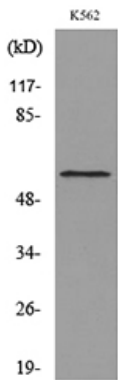
背景

アンジオポエチンは血管内皮増殖因子ファミリーに属し、血管内皮に特異的な唯一の既知の増殖因子です。アンジオポエチン-1、アンジオポエチン-2、およびアンジオポエチン-4は血管の形成に関与しています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、成体組織に広く発現するアンジオポエチンファミリーの別のメンバーであり、mRNAレベルは血管新生が豊富な組織で最も高くなります。このタンパク質は、in vitroにおいて内皮細胞マイトジェンとして作用しない分泌タンパク質であることが判明しました。[RefSeq 提供、2008年7月]類似性: フィブリノーゲン C末端ドメインを1つ含む。組織特異性: 副腎、胎盤、甲状腺、心臓、骨格筋、小腸で高発現。精巣、卵巣、結腸、膵臓、腎臓、胃では弱発現。、

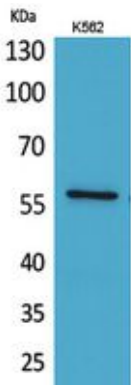
研究分野

-

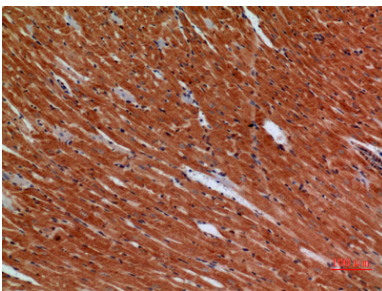
画像データ



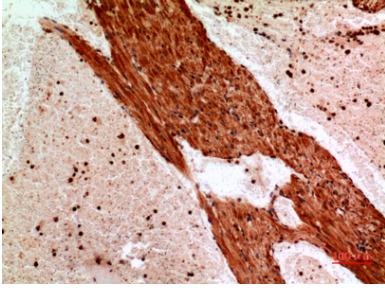
ANGPTL1 抗体を使用した K562 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Angptl1 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋マウス心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋マウス心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された